

=====

「中国工場再生プログラム」サービス開始！

=====

☆☆☆☆ 通算 2013年～2015年 第55「号」 ☆☆☆☆
【上海市、環境保護法関連罰金額1億元超え】

<%Name%>さん！省エネ環境のエガちゃんです。

如何お過ごしでしょうか？

9月中旬、秋の香りが漂い始めました。

近々、上海蟹ツアーに出かける方も多いのでは無いでしょうか。

さて、そんな中、上海市が以下の様な発表を行いました。

このニュースは、新華社通信の公式HPである新華網
(<http://news.xinhuanet.com>) のローカルニュースとし

て9月11日に発表されたものです。

http://news.xinhuanet.com/local/2015-09/11/c_128217340.htm

「新環境保護法が今年の1月1日施行され以来、上海市管轄に置いて1月-8月の統計が纏まり、摘発件数は1,678件、徴収された環境保護法関連の罰金額は1億元を超えた。」

「それぞれ、去年度比42.4%、56.9%の増加率である。また、差し押さえ案件7件、生産制限若しくは生産停止案件が4件、責任者の拘留が7件、環境汚染犯罪として公安部に告発された案件は21件に上る。」

「上海市は、引き続き環境関連の大検査を続ける予定であり、特に微細埃、石炭ボイラ、家畜養殖、違法企業廃棄物（排気、排水）を厳格に法的執行を行うこと。」

「更に、一歩進んで<上海市環境保護条例>を制定し、船舶排出汚染、大気総合汚染、微細埃の観測の標準を制定する。」

「環境汚染に関する情報公開を進め、一般市民からの告発を引き続き奨励する。データによれば、今年上半期の告発奨励金案件は27件に上った。」

以上のニュースを読んで、私が再認識したことは以下のことです。

1. この時期にこれを発表したのは、上海市が国家が進める環境保護の取り組みに対し積極的に活動していることのアピールであること。
2. 腐敗問題に対する厳罰化が確実に浸透してきた。
3. 取り締まり件数、罰金徴収の金額が実績として認められ始めたこと。
4. 民衆からも問題を吸い上げ、報酬を与えると同時に市の実績とすること。

また、弊社がお付き合いのある環境関連のメーカーの営業マンから以下の様な話も聞いています。

「最近、環境、排水、排気、労働環境に関する査察が頻繁に行われており、各企業に一齐に役人が訪問しては現場を確認し始めています。基準を満たしていない企業に対しては、早急に対応するように促す事例が増えており、そのような相談を沢山受けている事が多くなりました。しかし、どのように対応すべきか明確な決断が出来ていなかったり、本社側への報告が不足していたり、本社の理解が得られないままズルズルと時間だけが過ぎている企業が多いようです。」

私は彼からこの報告を受けながら、さもありなんと思いました。

何故なら、これまでの日系企業の管理体制では中国の変化の早さについて行けないだろうということは明らかだからです。以前から私は警笛を鳴らしてきましたが、日本人の持つ時間観念と中国人の持つ時間観念の「差」は我々が思う以上に大きいのです。

<%Name%>さんも既によくご存じとは思いますが、巷に溢れ

る「中国論」で語られるように、日中の国民性は大きく異なります。

中国人は「走りながら考え、途中で調整を加えながらゴールを目指す」のに対し、日本人は「走る前にゴールまでの路程を調査し十分に準備をしてから走り出す」と言います。

中国は経済的には短期間に急激な発展を達成しましたが、それはまさしく「走りながら考える」を実践しただけの事であり、今はその途中で発覚した三つの問題「環境問題、腐敗問題、格差問題」を解決しながら、最終ゴールまで走り抜こうとし始めたという事を知るべきではないでしょうか。

だからといって、中国は決して走るスピードを落とすようなことは致しません。問題解決を進めながら同じスピードで走るのです。だから、その急激な方向転換について行けない場合は、ただその乗り物から振り落とされることになるでしょう。でも、過去の歴史を良く良く振り返ってみて下さい、例えそこから振り落とされても誰も手を差し伸べてくれることはありません。

では、日系企業はどのように進んでいくべきなのでしょうか。。。

中国以上に速く走らなければならないのです。そうしないと余裕を持ったとり組みは出来ません。今まで通りのスピード感では置いてけぼりを食うのは明白です。歴史や経験から学ぶべきでは無いでしょうか。もう十分に失敗例は蓄積されております。

<%Name%>さん、同じ失敗の轍を踏まず上手にこの荒波を乗り越えて行くには、「強かさ」と「狡猾さ」が今必要とされています。政府の役人さんたちが今望んでいるものは何かを察知し、うまく準備して行く。これが解決の鍵です。

ご質問、ご要望何でもお声掛けください。お待ちしております。

中国政府第三方機構 「省エネサービス会社」 批准

上海清環環保科技有限公司

えがしら

□配信停止をご希望の場合は、大変お手数でございますが
このアドレスに返信にて空メールをお送りください。

★★ ブログを始めました! ★★

<http://steco-blog.com/egashira/>

※ 節能服務機構 EMC 事業者 批准番号 : SHEMCS169 ※

Seikan Total Engineering Consultation and Operation

上海清環環保科技有限公司

〒200-235 上海市東漕河涇路 57 号 2 号楼 305-306 室

Tel: +86-21-5489-2707 Fax: +86-21-5489-2717

<http://www.steco.asia> <http://ecodel.biz>

江頭利将 (Toshimasa Egashira)

E-mail: toshi@steco.asia